



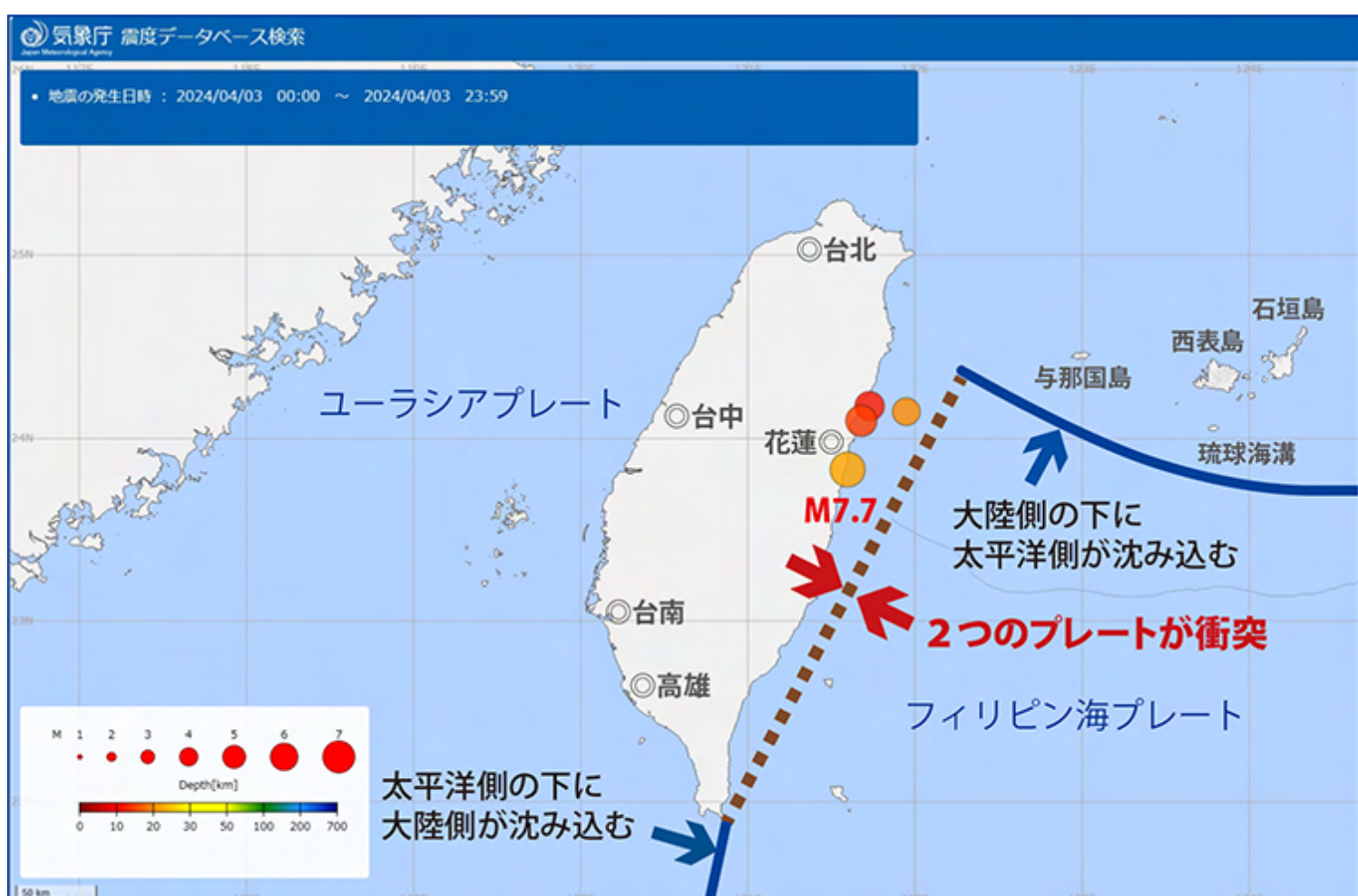
AIR断震 倶楽部通信 39

世界初! 空気ので家を浮かす!
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

台湾中東部沖でマグニチュード 7.7 の大地震発生 官民連携した迅速な災害復旧対応には学ぶべき点が多い



* 気象庁震度データベースを元に加筆・作図 (図内の●印は4月3日の24時間の震源を表示)
4月3日午前8時58分頃(日本時間)に、台湾中東部の花蓮市沖でマグニチュード7.7(気象庁発表)の大きな地震が発生しました。この地震により20人近い方が死亡・行方不明となり、震源に近い花蓮市では5階建てのビルの倒壊のほか、多くの住宅に被害が生じました。
台湾はユーラシアプレートの東端上にあり、東側のフィリピン海プレートとユーラシアプレートがぶつかり合う場所に位置しています。このため、昔から大きな地震が多発しています。1999年9月21日には、マグニチュード7.6の巨大地震(921大地震)が発生し、死者:2,415人、負傷者:11,306人、行方不明者:29人という大きな被害をもたらしました。
今回の地震では、921大地震の教訓を生かした迅速な災害復旧活動や、円滑な避難所運営が注目されています。官民一体となった地震災害復旧活動には、学ぶべきものがたくさんあります。

[詳しくはHPへ▶](#)

令和6年能登半島地震でのビル倒壊は 支えていた基礎杭が原因か?



令和6年能登半島地震(1月1日16時10分頃発生、マグニチュード7.6、最大震度7)の報道で驚いたのは、輪島市河井町の鉄筋コンクリート造(RC造)7階建てビルが横倒しになった映像です。地震に強いと言われていた鉄筋コンクリートのビルが倒れ、隣接した木造3階建ての店舗兼住宅を押しつぶし2名の尊い命を奪うという悲劇を生み出しました。多くの専門家が現地を訪れて調査し、次第に倒壊の原因が明らかになってきました。
弊社のグループ会社である(株)三誠の金沢営業所の杭の技術スタッフも現地調査に赴き、倒壊の原因は使用されていた鉄筋コンクリート杭が、地震の激しい揺れで破断したことが一因ではないかと報告しています。

[詳しくはHPへ▶](#)

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る!

「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。

震度7の揺れを約1/30に軽減



▲国立研究開発法人 防災科学研究所での実証実験の様子
震度7を想定した住宅の浮上実験をご覧ください。

[詳しくはHPへ▶](#)

「AIR断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから▶

[バックナンバー▶](#)

「エアー断震システム」
詳しい資料請求はこちらまで▶

[資料請求▶](#)

「エアー断震システム」
の効果を体感してみませんか。
関東に4カ所体験できる展示場があります。

[展示会場▶](#)

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》
株式会社 三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階
TEL: 03-3551-0272 FAX: 03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら